

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
新庄市	畑地区(畑集落)	令和3年12月23日	—

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	44ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	32ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	2ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	2ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	13ha
(備考)	

2 対象地区の課題

区画の未整備により、効率的な営農を行うことが難しい状況にある。今後の地域農業のあり方を見据えながら効率的な基盤整備を進めることにより、経営基盤の安定と担い手への農地集積・集約化を図る必要がある。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

畑地区の農地利用は、中心経営体である認定農業者等5経営体が担っていく。

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
計	5人		27.2 ha		40.2 ha	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

- 農地中間管理機構の活用方針
将来の経営農地の集約化を目指し、農業経営をリタイア・経営転換する人は、原則として農地を農地中間管理機構に貸し付けていく。
- 基盤整備への取組方針
生産効率の向上や農地集積・集約化を図るため、農地の大区画化・汎用化等の基盤整備に取り組む。
- 作物生産に関する取組方針
収益性の高い「なす」や「いものこ」、「トマト」などの園芸作物の生産に取り組む。